

創立 40 周年記念号



九品仏小学校同窓会だより



No. 5

4. 5. 25

発行

世田谷区奥沢ハ一二一
世田谷区立九品仏小学校同窓会
TEL 〇三三七〇三〇四五八
発行人 会長 富田 浩司

H.4.4 現在
同窓会員総数
4405 名

◎年度総会のお知らせ

平成四年度総会を左記のように開催いたします。各期幹事の方日頃のご協力ありがとうございます。

同期の方への連絡、名簿の整備、会費の納入勧誘等ご苦勞様です。

今年の年度総会の日程が決まりましたので、あらかじめお知らせいたします。

記

日時 六月二十一日(日)午後一時
場所 九品仏小学校

今回は創立四十周年の懇親会を引きつづきささやかながら準備しておりますので、お立ち寄り下さい。

尚、三十九期生の皆さんは当日卒業アルバムの配布があります。是非ご出席下さい。

※「同窓会だより」によせて

会長 富田 浩司

昭和六十二年に、母校創立三十五周年を機に設立された同窓会は、四千四百名を超える同窓生の温かい支援を受けて、毎年発行する会報も、今回第五号をお届け出来る迄に成長しました。

折しも、平成四年は、母校創立四十周年の記念すべき年となります。

母校の動きや、恩師や仲間の様子を、お伝えする会報も記念号として、発行しました。たのしく読んで頂けたら、幸いです。

同期会、クラス会開催の輪も着実に広がっています。一方、学校や地元との協調もしっかりと根付いてきて、喜ばしく思います。

今後共、各期名簿の整備、会報の継続発行を基本に、同期会、クラス会の多数開催を通じて親睦の輪の拡大充実を目指して頑張りたいと思います。地味ながら着実な、この同窓会活動への支援を、重ねてお願いいたします。

そして、母校や仲間とのつながりを絶やさないためにも、毎年お届けしている会報をたのしみにして下さる皆様からの励ましの言葉や会費納入による運営支援に、改めて感謝いたします。

又、今迄に会費納入の機会のなかった方々にも、この機会に、是非、ご支援の程をお願いいたします。

いたします。皆様の要望・ご意見を誌面に反映して、より良い会報に発展させたいと思います。引き続きのご協力をお願いして、ご挨拶いたします。

※開校四十周年にむけて

九品仏小学校長 碓井 恒夫

本年度で、九品仏小学校が開校四十周年を迎えます。本当に、おめでとうございます。

昭和二十七年十月十六日に開校して、第一期の卒業生は、今年はや五十才を迎えます。

偶然にも、一期生と私は同じ年令になりなるとなく親しみが深い感じがいたします。

いま、教育は「教えることから、学ぶ教育へ」と大きく変わろうとしています。社会や時代の激しい変化に対応でき、豊かな心をもちたくましく生きぬく人間の育成が小学校教育の中心課題と考える時代になったのです。

その実現のためには、一人一人の個性・能力・適性を伸ばし、自分で考え正しく判断し行動する子どもの育成が求められているのです。

十月十五日（木）に行なわれる、四十周年記念式典では、これからの教育の在り方を求めて実践している姿を示したいと考えております。「子どもが主役」の記念式典にご期待ください。

※人を得た同窓会

同窓会顧問（第八代校長）浅子 昭三

組織やグループが発展するには、何よりも人を得ることが大事です。九品仏小の同窓会は、富田会長初め現役員の方々であったと思う。

昭和六十年、富田さんが同期会の名簿作りの資料を見せて下さいと学校に来られた。富田さんは九品仏小の第一期生であった。富田さんと私は、期せずして同窓会作りの必要性和その時期に来ていることを話し合った。

それから同窓会結成に向けて、じっくりと無理をせず、人集めから始めた。急がずに、しかし後へは下がらない、堅実だが一番難しい結成への準備を着々と進めた。

幹事は各期から出し、古い住所や地図をたよりに手分けをしながら住所の確認をしつつ、名簿作りも充実したものになった。納入された会費を大事に運用している。かくて愛される同窓会になった。

今年と同窓会結成五周年。会はず着実に十周年へと歩んでいる。後輩の同窓生にとって幸せなことである。会長・幹事の皆様にとって感慨深いものとお喜び申しあげます。

●歴代校長

初	代	(故)湯 浅 芳 雄	昭27.4～昭31.8
2	代	(故)末 永 茂 喜	昭31.8～昭36.3
3	代	成 富 駒 雄	昭36.4～昭40.3
4	代	(故)山 口 仁之亮	昭40.4～昭44.3
5	代	(故)横 岡 和 雄	昭44.4～昭50.3
6	代	清 水 任	昭50.4～昭56.3
7	代	横 山 隆 一	昭56.4～昭60.3
8	代	浅 子 昭 三	昭60.4～昭63.3
9	代	山 本 菊 哉	昭63.4～平 3.3
10	代	碓 井 恒 夫	平 3.4～

●沿革概要

開校記念日 10月16日

●現学区域略図

昭27.4	東京都世田谷区九品仏小学校開校。 初代PTA会長 石川達三。
29.3	第一回卒業式
31.11	校歌制定 作詩高橋翔太郎、作曲江口夜詩。
36.11	創立10周年記念式典举行。
41.7	プール竣工。
45.2	屋内体育館および特別室(理、音、 図、家)竣工。
47.2	鉄筋3階建10教室。校長室、教員 室、保健室、放送室、事務室、更 衣室、教員室、給食室竣工。
58.12	図書室、視聴覚室、プール完成。
62.9	同窓会発足。
62.10	創立35周年記念式典举行。
平 3.2	ランチルーム設置工事。
4.10	創立40周年記念式典(予定)



●生徒・学級数推移

	学級数	児童数
昭27.4	15クラス	731人
32.4	21	1043
37.4	14	638
42.4	13	485
47.4	17	595
52.4	18	649
57.4	18	629
62.4	14	469
平 4.4	12	342

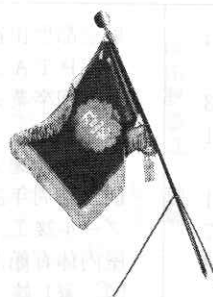
●九品仏小学校 校歌

作詞 高橋 掬太郎
作曲 江口 夜詩

1. 小鳥の歌に友をよび
みんなで仰ぐ青い空
学べよ正しく
心は高く
遠くで富士が
見えているよ
よい子の学校九品仏

3. 桜の並木多摩の丘
希望に光る白い道
教えを守って
手を取り合って
明るく強く
進もうよ
よい子の学校九品仏

2. みどりの風が吹くところ
仲よく遊ぶ広い庭
椎の木杉の木
伸び行くように
丈夫な身体を
つくろうよ
よい子の学校九品仏



●平成3年度学校行事抄

平 3. 4. 6	始業式・入学式	平 3.11.19	社会科見学
16	遠足（鎌倉）		・国会議事堂 ・科学技術館
5. 1	全校写生会（浄真寺境内）		・毎日新聞社
26	運動会	12.12	古典鑑賞教室
31	スポーツテスト		“附子” “梟山伏”
6. 5	知能テスト	25	二学期終業式
7. 5	川場移動教室	4. 1. 8	三学期始業式
20	一学期終業式	9	書き初め
8.1～3	日光林間学園	23	中学進学を控えて（八幡中校長先生のお話を聞く会）
9. 2	二学期始業式	2.21	スケート教室（5・6年）
6	水泳記録会（於尾山台小）	3. 3	ひなまつり集会
12	日生劇場観劇 “エルリック・コスモス の239時間”	10	お別れ球技大会（5・6年）
10. 4	全校遠足 “子どもの国”	12	お別れの会
11. 9	展覧会	16	卒業生を送る会
		25	卒業式

クラス会だより

三十三年度卒（五回生）

旧六年二組クラス会を開いて

五期 鹿島 和子（旧姓小林）
 昨年十月二十七日 五期生二組（担任 道法先生）のクラス会を四年振りに、自由ヶ丘の「鳥花」で開きました。

小雨降る生憎の天候でしたが、十五名の出席者がありました。中には卒業以来初めてという方もいらっしゃいましたが、暫くするうちに、小学校時代に戻ったような気分になり、和気藹々にとっても楽しい時を過ごしました。

私達五期生は六年間一度もクラス替えがなかった、という事もありまして、途中転校した方も出席して下さり、とても良い雰囲気結びつきの強いクラスだと思えます。

二次会は地元で「保名」というお店を開いている渡辺君の処で、新たに三名の出席者を加えて、お酒を飲み、おしゃべりに、カラオケに、と盛り上がり、終電の時間を気にしながら、名残りを惜しみつつ、再会を約束して別れました。



七期同窓会を開いて

七期 外山眞佐子（旧姓鈴木）
 九月七日（土）昭和三十四年度 第七回生六年三組のクラス会を、自由ヶ丘「磯勢」にて、行いました。名簿作成の折には大変ご協力いただき、三十六名の住所がわかりまし



た。皆様にお手紙を出しまして、出席のお返事を二十名頂き、幹事一同喜んでおりました（三十一名の方からお返事を頂きました）。小池寅二郎先生のご出席もあり、大変盛況に十年ぶりのクラス会を懐かしく、なごやかに過ごす事が出来ました。平成三年九月七日に作成いたしました名簿とクラス会の写真を送らせていただきます。

「同窓会だより」に載せて頂き住所不明の方々との連絡が出来ることを祈っております。

卒業担任の

先生からのメッセージ

① 九品仏小学校での一番の思い出

② 近況

③ 教え子・卒業生への一言メッセージ

敬称略

林 一郎 S 27 / 31

① 開校当時は球技大会が盛んで、担任した一期生二組の皆さんが、男子は野球、女子はドッジボールと五年六年とも連続優勝したこと。ちなみに教員も一丸となって玉川地区運動会で優勝。

② 週三日都内で若い鍼灸師諸君と、鍼灸治療に励み、時折は海外旅行でリフレッシュしています。

③ 「継続は力なり」が実感です。

太田 みね子 S 27 / 37

① いろいろ有りますが、行事では秋の大運動会もその一つです。その頃の九品仏小の運動会は学校と地域が一つになって活気のある楽しいものでした。そんな学校とPTAのよい関係が開校当時の九品仏小を大変

校風の良いものに作りあげていったのではないでしょう。自然環境にも恵まれ多摩川辺や等々力溪谷への生物の観察や写生も毎年楽しい校外学習でした。

② 新卒で開校と同時に九品仏にお世話になり十年在職、品川区の御殿山小へ移って間もなく退職、主婦専業になりました。

現在は趣味の木彫を生かし朝日カルチャースセンターで指導に当たっています。又時々外国人のホームステイや留学生のお手伝いなどさせて頂いております。当時一緒に一緒だった田辺、北野、伊藤先生方との時折の文通も楽しみに続けております。

③ 九品仏小で私が担任した教え子達は丁度子供の教育や、各職場では働き盛りの年令と思います。どうぞ健康に注意して御活躍下さい。ずっと消息のわからない人もありますので、御連絡いただけると大変嬉しいです。

飯田 晃 S 27 / 37

① 九品仏小でのスタートは校舎のないスタートであった。尾山台、八幡小に分散しての授業開始で六年生はいなかったし児童数も少なかった。一番の楽しみは校舎が出来上がることであった。木造二階建の校舎が徐々に形を整え、学校が出来上ってくるのは教師、児童共に楽しみであった。体育館プールもない今とは比べものにならない学

校ではあったが、すべて新しいというのは自分の良いものであった。新設校というのは大変であったが、よい経験になった。全員が学校づくりという気持ちでいっぱいであった。開校当時のことが何ともなつかしい。

② 九品仏小には開校より十年お世話になりました。二十代の若い年代でした。その後八幡小、駒沢小、瀬田小と勤務し、二年前に教職を去りました。現在は嘱託員として別の立場から児童に接しています。

③ 卒業して社会人となるといつでも会えそうに会えないのがクラス会、クラス会ほど年令を忘れ童心にかえって幼なかりし頃のことを話しあえる会はないでしょう。クラスの間はお互いに住所だけはしっかりおさえ、たまに会って近況報告、昔話を大いにやりましょう。

足立 五郎 S 28 / 32

① 三年生担任の三学期、急に五年一組の担任にかわったこと。長い教職生活で最初でそして最後でした。

② 瀬田小学校長を最後に教職を退きました。その後四年間社会教育課、世田谷区立小学校PTA連合協議会の仕事をしております。家では専ら植木屋。

③ お子さんの（特に女の子）ことば遣いは十分耳を傾けてください。日本のことばが世界のことばとして位置づけられつつ

ある今日、日本人が自国語を乱しては困ります。

安藤 利己 S 29〜40

① 1・ドッジボール東京大会で女子6年生優勝を二度、準優勝等何度かした。

2・教職員運動会で連続優勝、3〜4連続だと思ふ。

3・図書室をつくった。

② 守山小に勤務

・都、区、地域のスポーツ関係(バレーボール)で青少年育成

③ 健康第一

・わが町、わが母校を心のふるさとにして欲しい。

兼弘 昭一 S 32〜41

① 久しぶりに在任当時の学校文集「たけやぶ」を取り出してみました。紙の色がかなりくすんでいきます。それもそのはず昭和三十四年発行(第二号)なのですから。この文集は当時教頭だった森田先生が始められ一、二号は先生ご自身で謄写印刷をなさいました。三号からは国語部が編集し、タイブ印刷にしました。目次を開くと、作文の題名と作者名がずらりと並び、子供達の童顔が脳裏に浮かんできます。思わず呼びかけたい気持ちに駆られます。みんなどうしているかなあ。

② 昭和六十二年に定年退職後、東京都の嘱託として狛江市の小学校で五年間小学生を指導してきました。それも、この三月で終了しますので、今後は、健康に留意しながら、できるだけ有意義な生活を送りたいと思っています。

現在している仕事

一、世田谷区小学校教育研究会国語部発行「さくぶん」の選者。

二、世田谷区シルバー人材センター、学習教室の講師

③ 〇読書の習慣をつけましょう。

〇文章を書き放しにしないで、読み返しをする習慣をつけましょう。

〇相手の立場で考えられるようにしましょう。

山下 豊子 S 32〜42

① 「今日、王選手が来るよ。」「行こうか。」午後の授業を体育に振り替え、多摩川よみうり巨人軍の練習場までマラソン。桜並木、温室村、田、畑を横目に……。河原のグラウンドでやるサッカーやドッジボールは広々として気分がいい。帰日もマラソン。私も若かった。よく走ったものだ。日本シリーズが始まると、皆は巨人、私は南海で応援合戦、何しろ巨人・大鵬・玉子焼の頃だった。

② 健康です。昭和六十年から民生委員、児童

委員を引き受け、地域のドッジボール大会の実施委員長です。(九品仏小学校でのスポーツ大会が思い出されます。) 日本画に、陶芸、テニスと、年を忘れて、楽しんでいきます。

③ 皆さん、もう立派な社会人、現代社会を背負って働き盛り、体につけてと思う気持ちで一杯です。私は健康です。だから幸せなんだと思います。

辻 隆顕 S 40〜50

① 昭和四十年四月、九品仏小に赴任して十年、その間プール、体育館、校舎などの新築工事で児童の体力づくりに頭をいためた全職員でとりくんだ室内体操、その他児童たちがよく活躍した体育行事が昨日のように思い出される。

② 健康のため、ゴルフ中心の生活です。

③ 健康には十分留意し、何事にも目的意識を持ってとりくみ、誰からも信頼される人になって欲しい。今後の活躍を期待しています。

星 正道 S 41〜49

① プールができ体育館が二階にできてやがて木造校舎がコンクリート校舎に変わったことです。工事中プレハブ校舎で過しましたが、給食の時ミルクをこぼすとすぐ一階にもってしまいうのでみんなであわててふき

とったことなど思い出はいっぱいです。な
かよし滝もなつかしいです。

- ② 健康第一に暮しています。植物が好きなので特に山野草を集めて楽しんで居ります。鉢も九百程になり手入れができないで困っています。それでも季節が来ると可愛い花を咲かせてくれます。

- ③ わかっていながらできないものですが、体を大切にするのが一番です。

○外見よりも人を愛し自然を愛す豊かな心をもってください。

○社会人として立派に成功することをお祈りいたしております。

小野 れい S 42 S 51

- ① 昭和四十二年の入学式は校庭の桜が格別美しく、その見事さが新聞に報じられた程度でした。でも校舎は古く、入、卒業式、学芸会は三教室の打抜きでした。その都度、舞台となる机の搬入から、会場の設営の重労働に誰一人不平もいわず実によく働いてくれました。次の年から校舎の改築が始まり、教材、教具の引越、清掃と毎年続けましたが、いつも積極的に仕事をみつければ黙々と働いてくれた当時の皆さんの姿が思い出されます。

- ② 退職して十年経ちました。九品仏在職中から続けている習いごとのため、月二回九品仏商店街を通りますが皆さん声をかけて

頂いたり、なつかしいお店に立寄ったりして、登校していた頃の気分に戻って何か、ほっとしています。今は公認の老人の仲間入りをしましたが、気持だけは若者でいたいと思う此の頃です。

- ③ こじんまりと落ち着いた温かい雰囲気のある学校で一人はみんなのために、みんなは一人のためにの言葉のように、お互いを思いやり、認めあってはげんだ頃のことを忘れずに、常に前向きで活躍ください。

井上 武司 S 43 S 49

- ① 木造校舎全面改築のためプレハブ校舎で勉強したこと。作文や詩の勉強をして文集や詩集のできたこと。

- ② 世田谷小学校で元気でやっています。

童話や俳句を楽しんでいます。

- ③ 良い教え子が多かったので各方面で活躍してくれているのが楽しみです。

いつも九品仏小の卒業生であるという誇りを持ち続けてください。

人見 輝人 S 44 S 48

- ① 歴史の地に建つ九品仏小学校は期待どおり楽しい学園でした。だが何といても、一番の思い出は木造校舎に赴任し、子供達共々引越しをくり返して新校舎の完成に汗した事です。又二十周年史を、まとめさせ

て頂いたこともその一つです。

- ② 現在は区立郷土資料館に解説員として勤務する傍、区誌研究会の一員として、しばしば浄真寺に多勢の区民の方々を案内しています。九品仏小に在籍していた事が大きな力になっている事を痛感しています。

- ③ 二十一世紀を目前にして、今こそ正に温故知新の考えが深められることが、大切と思われれます。伝統の地に育った誇りを胸に新たな時代に対応する意欲を燃やして頂きたいと願っています。

瀬川 博行 S 45 S 54

- ① ギンギンと歩くたびに音のするプレハブ校舎、夏はものすごい暑さでした。昭和四十五年三年生担任でした。

- ② 退職して四年、やっと毎日が日曜日の生活に慣れました。

- ③ 右顧左眄することなく自分の道を拓いていって下さい。健康で活躍されるよう祈っています。

網沢 薫 S 45 S 54

- ① 転勤、はじめての学芸会、劇出演の子供を除いて女子全員が小道具の作成やらせて下さいと申し出た時、只々感激でした。図書室の引越し……校舎の建替であちこちに移動しました。不言実行本当によく働いてくれました。九品仏小のよい所々と見え

ました。

② 退職十年目に入りますと川の向こうが日々遠くなります。何とか元気に毎日を送っております。

③ 九品仏小の時の全力投球、友達同志の仲の良さ、いつまでも持っていてほしいものです。

宮澤 清美 S 50 H 60

① 昭和59年2月、降雪でドロドロになった路上に立って、富永一郎氏の壁画の除幕式をやったこと。

② のんびりと晴耕雨読の毎日です。耳順も過ぎ、まもなく古稀も近づいてきましたが元気ですごしております。

③ 自分の言動に信念と責任の持てる人になって下さい。

松 真佐子 S 50 H 59

① 創立30周年記念「九品仏のこども」(当時の全校生の作文集)を、読み返してなつかしく想い出しております。

② 九品仏の町の近くに、元気でくらししております。

③ 移り変わりのはげしい世の中ですが、「自分を大切に」なさって、すこやかに成長されることを祈っております。

亀岬 嘉子 S 53 H 56

② 過日は同窓会だより第四号をご恵送いた

だき有り難うございました。懐かしく拝見いたしました。大井線に乗る度に学校は見えないのに、街並みをのび上がるようにして眺めたりいたします。思い出多い学校です。同窓会の暖かい交流とご発展をお祈りいたし御礼を申しあげます。

とり急ぎ かしこ

堀 真一 S 61 H 3

① いっしょにソフトボールやサッカーをやったこと。頭の中で映像のように浮かんできます。

② ただ毎日を忙しく過ごしています。

③ とにかく健康に気をつけて、目標を見失わずロマンチックに生活できるといいね。

五十嵐貫治 S 60 H 3

① クラスのみんなで書き続けた学級通信「ひろば」の発行、ときどき読んでそのころを思い出しています。

② 都の嘱託員として、駒沢小学校で、3年生の理科3クラス9時間の授業にでています。学級園のジャガイモ、ヘチマ、菜の花などの世話、校内の表示で筆を持つことなど、がんばっています。とにかく元気です。自分の足元を見つめつつ進んでいって下さい。

高久 仁 S 56 H 3

① 考えてみたのですが想い出が多すぎて、どれを一番にしてよいのかわかりません。キザを承知で言いますと、尊敬する先生方、明るく素直な子供達、理解ある保護者、地域の方々と共にゆったりとそして、おおらかに過ごした3650日の日々、すべてです。これが正直な気持ちです。

② 昼間は学芸大学駅近くの目黒区立鷹番小学校に、夕方からは自由ヶ丘駅周辺にいます。

③ みんな! 重いバケツをもっているかい。

玉田 一美 現職

① クラスの集会で、レンタルショップでわた菓子器を借りて派手に「縁日」をやり、頭からわた菓子をかぶって奮闘したこと。

② あまりの不器用さに手伝いに来たお母さん方に同情され、みんな作ってもらった。その他「人間すごろく」「仮装大会」等々ユニークな集会を子供達が企画しとても楽しかった。

③ ☆公害なき地球

☆戦争なき世界

☆差別なき社会

④ あいも変らず〇〇のひとつ覚えのように子供達に言いつづけている、変りばえのない毎日。とはいえ髪の毛は思いつきり白くなり、今や完全無欠の中年。

③ 『信じたことは ひるまずやりぬく』とはいっても、言ってる本人もなかなか実践できずにいるが……

① 箭内 靖司 現職

① 九品仏小学校に来て最初に受持った5年生が4月からは高校2年生となりますから7年目を迎えることになります。一番の想い出というには少し違うかもしれませんが、年を追うごとに自分が目ざして来た教育から一歩一歩遠ざかっていってしまったという想いが強くなってきました。

② 20年ほど続けた5・6年の担任をやめ、今はかわいいう3・4年生に自分の情熱を注いでいます。昔の鬼の箭内も、年相応に仏の箭内に変身？してきているかなと自分では思っている昨今です。

③ 昭和62年度の卒業文集にのせた「贈る言葉」の最後にのせた詩、思い出せますか。今も自分の目標に向かって日々努力していますか。

パッと咲いた花はパッと散る

にわか雨はすぐやむ

君の咲かせようとしている花には長い長い倦むことを知らない努力がこもっている、だからきつと時がたつほどかがやきを増すようなそんな花を君は咲かせるだろう

石塚 英夫 現職

① 毎日が楽しいことの連続。充実した日々を送っています。

② 教える喜びを味わっています。

③ 創造的な仕事をして下さい。

羽田野泰江 現職

① ある日、友達同志のけんかで、ある男の子が学校をとり出してしまいました。その日は雪まじりの雨がふっていました。みんな心配で雨の中を必死でさがしました。その時の「友達思い」忘れられません。

② 九品仏小学校に勤務して、早5年が過ぎようとしています。世の中悲しい事件が報道される中、九品仏小の子供達は明るく素直で私の誇りとしたところです。

③ 男子と女子が大変仲の良いクラスでした。1人1人がそれぞれの長所を生かし、その場その場で実力を発揮してくれ、素晴らしいクラスができあがりました。これから特性を生かし自己をアピールして下さい。

砂原 桂子 現職

① 日光林間学校で戦場ヶ原をハイキングした時のことです。赤トンボの飛びかう木道を花の名前を5個ぐらいは覚えようと言ってワレモコウ、リンドウ、アカタマソウロキツリフネなどと教えながら歩きました。何度でても覚えられなかった子もいま

した。この時の6年生、今は大学生かな、それとも社会人になったかな。木道ならぬそれぞれの道を歩んでいることでしょう。大自然の中での子供達とのふれあいが心に残っています。

② 平成3年度本校は科学教育センター校を引き受けました。7・8ブロック15校の5・6年生39名が土曜の午後理科室で科学の勉強に励みました。天気図書き、ウッド合金作りなどの学習をしました。毎回実験を通し新しい事実に接しみんな驚いたり歓声をあげたりにぎやかな2時間でした。

③ 町で会ったらひと声かけてください。

お忙しい中諸先生方、アンケートにご協力頂きありがとうございます。
これを機に先生との連絡住所等の問い合わせは本部へどうぞ

通信欄

・平成三年六月三十日 日曜日
九品仏小学校三十五期生一、二、三組合同クラス会

出席人数 四十七名

玉田先生、高久先生

九品仏小学校 二階ランチルームにて

十七期 木下 薫(富田)

・同窓会誌を送って頂きどうもありがとうございます。

大変懐かしかったです。

私は多分十七期だったと思います。

一期下に弟(富田章)がおります。

・払込用紙の裏の返信欄に近況、お友達へのメッセージ等をお書き下されば会報に記載させていただきます。

・平成四年の卒業生に同窓会の会報をはさむバインダーをお贈りしました。とても好評でした。



係では、身近な話題、同期会の様子など、皆様からの投稿をお待ちしております。

収 入

単位円

項 目	金 額	摘 要
前期より繰越	1,083,249	
39回生入会金	62,000	62名
維持会費	467,850	
利息	22,670	
合 計	1,635,769	

支 出

項 目	金 額	摘 要
通 信 費	174,504	
消 耗 品 費	19,793	
交 通 費	1,280	
会 議 費	8,136	
記 念 品 費	99,570	同窓会綴(新入会員,他用)
印 刷 費	95,000	会報
総 会 費	40,333	
渉 外 費	17,090	
小 計	455,706	
次 期 繰 越	1,180,063	
合 計	1,635,769	

次期繰越金内訳 とみん銀行預金 112,969
 郵便貯金 1,067,094

平成3年度同窓会監査報告

平成3年度会計収支決算書の監査を実施したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成4年4月5日

同窓会

会計監査

福井郁子 ㊞

田中雅子 ㊞

平成三年度 同窓会収支明細

●維持会費納入方法

会運営を円滑にするため、是非ともよろしくお願い申し上げます。

一、維持会費 年額一〇一〇〇円

(但し二十才未満会員は免除可)

規約上の原則は上記の通りですが、二口以上の納入も、又、未成年会員の納入も、可能な範囲でよろしく願います。

二、特別寄付 年額 随意

「同窓会」活動資金の充実のために維持会費の上乗せとして是非協力下さい。

三、納入方法

・振込先 九品仏小学校同窓会 口座
郵便振替口座 東京0-220110
又は、東京都民銀行 九品仏支店
普通0313454

(振替用紙裏面の通信欄に卒業年度又は期別を記入して下さい)

●活動報告にかえて

会長 富田 浩司

同窓会活動の基本は、設立以来、重点点の目標を各期名簿の整備充実を通じての同期会、クラス会の多数開催に置きました。そして、仲間の絆を深めるために、毎年発行の同窓会報の内容充実と会員への直接送付を拡大してきました。平成三年度も、その趣旨に沿って学校行事への役員参加、顧問、役員間の打合せ、連絡強化等を通じ、活動方針の再確認を行いました。今年の学校創立四十周年を機に、同窓会の一層の充実を期す所存です。

皆さんも、同期の仲間と図って、恩師の先生をお誘いして、同期会を開催される様、心より期待しております。

又、平成三年度の学校側同窓会担当は、箭内、稲葉の両先生にお世話になりました。

平成四年度からは、石塚、鈴木、玉田の先生方となりました。碓井校長、上原教頭の両先生共々、会活動にご教導を頂けると、期待しております。そして、顧問の浅子元校長にも、引続き、ご指導をお願いしています。

尚、本校の卒業生の同窓会本部役員は、平成三年度総会で、富田会長、佐原、宮本両副会長以下、総勢十七名が全員再任されました。各期幹事と共に、頑張りたいと思います。

先生の異動

平成四年四月付で、教頭先生の異動があり、丸山延子先生が、用賀小学校校長に御栄転されました。後任教頭として、尾山台小学校より、上原行義先生が着任されました。

丸山先生に、心よりのお礼とお喜びを申し上げると共に、上原先生には、同窓会の学校側役員(副会長)としての今後のご協力をお願いいたします。

計報

福田 和先生(平成三年八月)

慎んで御冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

先生方のお返事を沢山頂き記念号の誌面も充実できまして、広報役員一同感謝しております。

今後共皆様方のご協力を頂き、よりよい同窓会に発展させていきたいと思ひます。

同窓会広報一同